

伊奈病院は

(財) 日本医療機能評価機構の

認定病院です



## 理念

私たちは、安全で質の高い医療を提供し、患者さまに信頼される病院をめざします。

### 理念の実行方法

1. 私たちは、十分な説明と同意に基づき分かりやすい医療を実践します。
2. 私たちは、自己研鑽に努め、職員が一体となったチーム医療を実践します。
3. 私たちは、患者様の意思・権利・プライバシーを尊重し、思いやりのある医療を実践します。
4. 私たちは、地域に信頼される病院を目指すとともに、職員としての誇りを持てる職場を作ります。
5. 私たちは、健全で効率的な病院経営基盤を確立し、地域の基幹病院としての使命を遂行します。

## 新しい職員の紹介

小児科医師

早川依里子

平成25年11月から勤務させていただいている小児科の早川依里子と申します。この度4月より常勤医として勤務することになりました。岐阜県出身で大学は九州の佐賀県、卒業後は東京にて小児科医として勤務しておりました。一般小児科診療だけでなく、特に気管支喘息などのアレルギー疾患・感染症の診療を行ってまいりました。

私自身小児期より気管支喘息に悩まされ、今も薬が欠かせない状態です。子供の頃は喘息発作で眠れない夜を何度も過ごし、このまま息が止まるのではという恐怖心は今でも鮮明に覚えています。そのような自分の体験も踏まえて、患者さんに寄り添いながら診療を出来ればと思っております。また、日本小児科医会の「子ども心」相談医として、心のケアを常に心掛けたいと思っております。

私は伊奈病院に勤務させていただきながら、以前より関わっておりますNGO「世界の医療団メドゥサン・デュ・モンド シャポン」のラオスにおける小児医療プロジェクトの活動のため、年に数回ラオスに派遣される予定です。ラオスはアジアの中でも医療事情が厳しい国で、乳幼児死亡率もまだまだ高いのが現状です。子どもたちの笑顔のため、日本だけでなくラオスでも小児科医として何が出来るか常に自問しながら活動していけたらと思っております。不在時にはご迷惑をお掛けいたしますが、何卒よろしくお願いたします。

# 2月3日 豆まき大会in保育室

お面をつけて、豆の代わりにカラーボールを手に持ち「鬼は外！」と満面の笑みでボールを投げる子ども達の姿がありました。鬼が来た時にそなえて練習です。

ところが、非常口の扉が開き鬼が入ってくると一変。子ども達の表情は凍りつき「ワーッ！ギャーッ！」と、大泣きで鬼から逃げるのに必死です。でも、中には頑張って泣きながら鬼にボールを投げている子もいました。

きっと子ども達の中からたくさんのいろいろな鬼が出ていった事でしょう。最後は、また来年までバイバイと、鬼さんにみんなで手を振っていました。



## 🍀 緩和ケアの部屋

1981年から現在まで、日本人の死因の第1位はがんです。がんになっても自分らしく生きるためには、自分が「最も良い」と思う道を選ぶことが大切です。そのためには、病気の状態を正しく知っておくことが必要になります。がんの告知について希望する人の方が、希望しない人よりも多いという調査結果も報告されています。真実を知るということは、一方的に伝えられるものではありません。以前では病気になったら「お医者様にお任せします」という他人任せの医療から、今や自分で治療や生き方を選択する自己決定の時代へと変化してきているのです。そういった選択をサポートすることも、緩和ケアの1つです。本音で語りあうことのできる身近なサポーターでありたいと、私たちは考えています。





## 電子カルテ導入にあたって



医事課 山村 圭司

当院は、平成 25 年 12 月 1 日より電子カルテシステムを導入しました。電子カルテシステムとは紙のカルテから電子媒体へ記録するシステムになります。では紙から電子媒体へ変更すると何が変わるのかという疑問が出てくると思います。

以前の紙のカルテを使用していた場合では、受付をして診察を終えて会計をするまでに、どうしても紙のカルテの搬送というものが生じてしまい、患者さまをお待たせしてしまう事がありました。

電子カルテシステムでは受付から診察、会計まで一連の流れは変えずに紙のカルテを搬送するというロス無くすことができ、患者さまをお待たせする時間を軽減する事が出来るようになります。又自動精算機を導入した事により、さらに会計までの待ち時間の軽減をする事が出来ました。

このように紙のカルテのままでは様々な機械との接続ができず、患者さまを待たせてしまう場合が生じてしまう可能性があります。患者さまの待ち時間の軽減を目的として、少しでも患者さまのストレスを軽減できればと思いこの電子カルテシステムを導入させていただきました。

電子カルテシステム導入直後は、紙カルテとの併用や電子カルテへの操作が慣れない為、一時的に患者さまをお待たせしてしまう場合があるかとは思いますが、どうか温かいお気持ちで見ただけたら幸いです。今後ともよろしくお願い申し上げます。

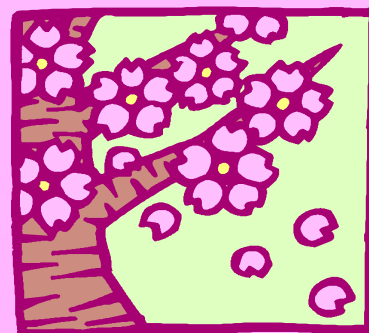




## 患者様からのメッセージ



- Q. まるで娘や孫に世話をしてもらったようでした。担当の先生、担当看護師たちにお世話いただきありがとうございました。これも師長さんの厳しくやさしくの教育と思います。人のため、世のため、皆さん愛情を持って頑張ってください。まだ言葉が足りませんが、お礼まで。ありがとうございました。
- A. あたかなお言葉ありがとうございます。今後も家族に接するような想いで、看護に取り組んでまいります。症状が改善され退院をむかえられた事、おめでとうございました。お大事になさって下さい。
- Q. 待合室の長椅子の背にあたるところが浅い。せめて肩ぐらいまでないと、深く腰をかけて、ゆっくり背をそらすことができない。これだと老人は疲れる。病院は老人の方が多いのではないかな。
- A. この度はご意見ありがとうございます。全ての患者様に最適な環境を提供していくことを目標にしておりますが、なかなか全ての患者様には満足していただく事が出来ていない現状がございます。今後いただいたご意見を参考に改善していきたいと考えております。この度は貴重なご意見ありがとうございました。



### 新入職員紹介

#### 看護部

前野 美佳  
不破 佳代  
石川 裕子

#### 医事課

渡邊 美子

よろしくお願い致します。

### 編集後記

皆様のお陰で今回も無事に発行する事が出来ました。今後も医療情報・伊奈病院での取り組み等、皆様のお役に立てる情報をお届けして参ります。

これからも伊奈病院を宜しくお願いいたします。

広報委員一同



医療法人一心会 伊奈病院

〒362-0806 埼玉県北足立郡伊奈町小室 9419

TEL : 048-721-3692(代)

ホームページ :

[http://www.issin.or.jp/ina\\_new/](http://www.issin.or.jp/ina_new/)

公式 facebook ページ : <http://www.facebook.com/inahospital>



当院の携帯サイトはQRコードよりアクセスしてください。

[http://www.issin.or.jp/ina\\_new/mobile/](http://www.issin.or.jp/ina_new/mobile/)

